

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

1 / 19 ページ

セクション 1：物質／混合物および会社情報

1.1. 製品特定名

インク 150/40 およびビッグインク 170/40

1.2. 物質／混合物の関連特定用途および推奨しない用途

物質／混合物の用途

産業用および業務用。

用途セクター[SU]：

-印刷および筆記用の物品：

-ペン

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

会社名： Pica-Marker GmbH
通り： Picastraße 5
住所： D-91356 Kirchehrenbach

電話番号： +49 (0)9191 320403-90
電子メール： info@pica-marker.com
担当者： Stephan Möck

電話番号： +49 (0)9191 320403-50

電子メール： stephan.moeck@pica-marker.com
インターネット： <http://www.pica-marker.com/>

1.4. 緊急連絡用電話番号： +49 (0)89-19240 (ドイツ)

セクション 2：危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

規則(EC) No. 1272/2008

危険有害性区分：
引火性液体：Flam.Liq.2
急性毒性：Acute Tox.4
重篤な眼損傷性/眼刺激性：Eye Dam.1
呼吸器感作性または皮膚感作性：Skin Sens.1A
特定標的臓器毒性-単回暴露：STOT SE 3
水生環境有害性：Aquatic Chronic 3
危険有害性情報：
引火性の高い液体および蒸気。
吸入すると有害。
重篤な眼の損傷。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
眠気やめまいのおそれ。
長期的影響により水生生物に有害。

2.2. ラベル要素

規則(EC) No. 1272/2008

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

2 / 19 ページ

ラベル表示の危険有害成分

プロパン-1-オール; n-プロパノール
テトラキス{9-[2-(エトキシカルボニル)フェニル]-3,6-ピス(エチルアミノ)-2,7-ジメチルキサンチリウム} C12-(分岐および/または 直鎖)-アルキル-(4-スルホナトフェノキシ)ベンゼンスルホナートおよびオキシビス[C12-(分岐および/または 直鎖)-アルキル-ベンゼンスルホナート]
ベーシックオレンジ 21 誘導体
ベーシックイエロー 28 誘導体

注意喚起語： 危険

絵表示：



危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318 重篤な眼の損傷。
H332 吸入すると有害。
H336 眠気やめまいのおそれ。
H412 長期的影響により水生生物に有害。

注意書き

P210 熱、高温の表面、火花、裸火およびその他の発火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器をしっかりと閉めておくこと。
P240 容器を接地しアースを取ること。
P241 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P261 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業着を作業場から外に持ち出してはならない。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：大量の水で洗う。
P303+P361+P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P501 内容物／容器を適切なりサイクルまたは処分施設に廃棄すること。
P370+P378 火災の場合：砂、粉末消火剤またはアルコール耐性泡消火剤を使用して消火する。
P333+P313 炎症や発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯する。
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P312 気分が悪い時は毒物センター／医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 直ちに毒物センター／医師に連絡すること。
P233 容器をしっかりと閉めておくこと。
P403+P235 換気の良い場所に保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

2.3. その他の危険有害性

得られる情報なし。

セクション 3：組成／成分情報

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

3/19 ページ

3.2. 混合物

危険有害成分

CAS 番号	化学名	量		
	EC 番号	インデックス番号	REACH 番号	
	GHS 分類			
64-17-5	エタノール; エチルアルコール			45 - < 50 %
	200-578-6	603-002-00-5	01-2119457610-43	
	Flam.Liq.2; H225			
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール			30 - < 35 %
	200-746-9		01-2119486761-29	
	Flam.Liq.2, Eye Dam.1, STOT SE 3; H225 H318 H336			
	テトラキス{9-[2-(エトキシカルボニル)フェニル]-3,6-ビス(エチルアミノ)-2,7-ジメチルキサンチリウム} C12-(分岐および/または直鎖)-アルキル-(4-スルホナトフェノキシ)ベンゼンスルホナートおよびオキシビス[C12-(分岐および/または直鎖)-アルキル-ベンゼンスルホナート]			1 - < 5 %
	700-761-5		01-2119935914-30	
	Acute Tox.4, Eye Dam.1, Skin Sens.1A, STOT SE 3, Aquatic Chronic 2; H302 H318 H317 H335 H411			
	ベーシックオレンジ 21 誘導体			1 - < 5 %
	Acute Tox.4, Acute Tox.4, Skin Irrit.2, Eye Irrit.2, STOT SE 3; H332 H312 H315 H319 H335			
54060-92-3	ベーシックイエロー-28 誘導体			1 - < 5 %
	258-946-7			
	Acute Tox.2, Acute Tox.3, Acute Tox.4, Eye Dam.1, Aquatic Acute 1, Aquatic Chronic 1; H330 H301 H312 H318 H400 H410			
78-93-3	ブタノン; エチルメチルケトン			< 1 %
	201-159-0	606-002-00-3		
	Flam.Liq.2, Eye Irrit.2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066			
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル			< 0.1 %
	203-961-6	603-096-00-8		
	Eye Irrit.2; H319			

H および EUH ステートメントの全文：セクション 16 を参照。

セクション 4：応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般情報

疑わしい場合、または症状が観察された場合は、医師の診察を受けること。
意識が無いか、または痙攣を起こしている人に、決して口から何も与えてはならない。
意識が無い場合、回復体位にして医師の診察を受ける。

吸入した場合

新鮮な空気を与える。必要な治療を行う。負傷者を空気の新鮮な場所に移動させ、体を保温して休息させる。
呼吸が不規則または停止した場合、人工呼吸を施す。

皮膚に付着した場合

汚染された全ての衣類を直ちに脱ぎ、再使用する前に洗濯する。必要な治療を行う。
直ちに汚染された衣類、靴、くつ下を脱がせる。
皮膚付着後は直ちに大量の水と石鹸で洗うこと。
次のもので洗わないこと：溶剤/シンナー

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

4/19 ページ

眼に入った場合

眼に入った場合、まぶたを開けたまま直ちに流水で 10~15 分間洗い流し、眼科医に相談する。眼に入った場合、まぶたを開けたまま直ちに流水で 10~15 分間洗い流し、眼科医に相談する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、口を水ですすぐ（患者の意識がある場合のみ）。直ちに医師の診察を受ける。被災者を休息させ、毛布を掛けて保温する。無理に吐かせてはならない。

4.2. 最も重要な急性および慢性の症状および影響

得られる情報なし。

4.3. 救急および特別な処置の必要性

対症的に処置する。

セクション 5：火災時の措置**5.1. 消火剤****適切な消火剤**

ウォータースプレージェット 0 二酸化炭素 (CO₂) 0 泡消火剤 0 粉末消火剤。アルコール耐性泡消火剤、二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、ウォーターミスト

不適切な消火剤

フルウォータージェット

5.2. 物質または混合物によって生じる特別な危険性

高引火性。蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。燃焼すると大量の煙が発生する。危険有害な分解生成物：カーボンブラック。長期暴露により健康に重度の損傷の危険性がある。適切な呼吸器保護具を着用する。

5.3. 消火を行う者への助言

自給式呼吸器および化学防護服を着用する。全身防護スーツ。ウォータースプレージェットを使用して、人員を保護し、危険にさらされている容器を冷却する。汚染された消火用水は、分別して回収する。下水または地表水に流入させないこと。

追加情報

ウォータースプレージェットを使用して、人員を保護し、危険にさらされている容器を冷却する。ガス/蒸気/ミストをウォータースプレージェットで抑える。汚染された消火用水は、分別して回収する。下水または地表水に流入させないこと。

セクション 6：漏出時の措置**6.1. 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置**

あらゆる発火源を取り除く。ガス/ヒューム/蒸気/スプレーを吸入しないこと。皮膚、眼、衣類との接触を避ける。個人用保護具を着用する。発火源から遠ざける-禁煙。影響を受けた場所を換気する。粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。安全な取扱い：セクション 7 を参照
個人用保護具：セクション 8 を参照

6.2. 環境に対する注意事項

環境への製品の制御されない排出をさせないこと。爆発のリスク。地表水または下水に流入させないこと。ガスが漏れた場合または水路、土壌または下水に流入した場合は、責任を有する当局に連絡する。

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

5/19 ページ

6.3. 封じ込めと清掃の方法および用具

吸水性物質（砂、珪藻土、酸またはユニバーサル吸着剤など）で吸収する。回収した材料は、廃棄物処理のセクションに記載されているとおりに処理する。広域に広がるのを（例えば、封じ込めまたはオイルバリアによって）防ぐこと。吸水性物質（砂、珪藻土、酸またはユニバーサル吸着剤など）で吸収する。適切な密閉容器に回収して廃棄する。廃棄：セクション 13 を参照
界面活性剤で清掃する。洗浄用溶剤を避ける。

6.4. 他のセクションの参照

安全な取扱い：セクション 7 を参照
個人用保護具：セクション 8 を参照
廃棄：セクション 13 を参照

セクション 7：取扱いおよび保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意事項****安全な取扱いのための助言**

覆いをせずに取り扱う場合、局所排気装置を設けなければならない。ガス/ヒューム/蒸気/スプレーを吸入しないこと。換気が不十分な場合および/または使用により、爆発性/高引火性混合物が発生することがある。オープンライト、火およびその他の引火源を遠ざけられる場所でのみ材料を使用すること。防爆電気機器を使用する。充填・移送：静電気放電に対する予防措置を講ずること。容器、機器、ポンプ、換気設備を接地すること。静電気防止靴および衣類を着用する。帯電防止（火花の出ない）工具のみを使用する。

皮膚、眼、衣類との接触を避ける。避けること：蒸気またはスプレー/ミストの吸入、粉塵/粒子の吸入。
取扱い中は、飲食や喫煙をしないこと。
熱源（高温の表面など）、火花および裸火から遠ざける。

空の容器に圧力を加えてはならない。元の容器でのみ保管すること。

地表水または下水に流入させないこと。

火災および爆発の防止のための助言

発火源から遠ざける-禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。溶剤蒸気は空気より重く、床に沿って広がり、空気と爆発性混合物を形成する。

7.2. 混触禁止を含む、安全な保管条件**保管室および保管容器の要件**

容器をしっかり閉めておくこと。施錠しておくこと。許可された者だけが立ち入れる場所に保管すること。適切な換気を施し、重要な場所では局所排気も施すこと。冷涼で換気の良い場所に保管すること。熱、高温の表面、火花、裸火およびその他の発火源から遠ざけること。禁煙。次に従って保管する：
Betriebssicherheitsverordnung (BetrSichV)。

共同保管の注意

次のものと一緒に保管しないこと：酸化剤。自然発火性または自己発熱物質。次のものと一緒に保管しないこと：酸化剤、強酸、強アルカリ

保管条件に関する詳細情報

使用法をラベルに表示する。
10°C~40°C の温度で保管する。
容器をしっかり閉め、冷涼で換気の良い場所に保管すること。日光から保護する。発火源から遠ざける-禁煙。許可された者だけが立ち入れる場所に保管すること。製品を取り除いた後は常に容器をしっかり閉めること。

7.3. 特定の最終用途

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

6 / 19 ページ

産業用および業務用。

用途セクター[SU] :

-印刷および筆記用の物品 :

-ペン

セクション 8 : 暴露防止および保護措置

8.1. 管理パラメーター

暴露限界 (EH40)

CAS 番号	物質	ppm	mg/m ³	fibres/ml	カテゴリー	出所
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール	10	67.5		TWA (8 h)	WEL
		15	101.2		STEL (15 min)	WEL
78-93-3	ブタン-2-オン (メチルエチルケトン)	200	600		TWA (8 h)	WEL
		300	899		STEL (15 min)	WEL
64-17-5	エタノール	1000	1920		TWA (8 h)	WEL
71-23-8	プロパン-1-オール	200	500		TWA (8 h)	WEL
		250	625		STEL (15 min)	WEL

生物学的モニタリングのガイダンス値 (EH40)

CAS 番号	物質	パラメーター	値	試験材料	試料採取時期
78-93-3	ブタン-2-オン	ブタン-2-オン	70 µmol/L	尿	作業終了時

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

7 / 19 ページ

DNEL/DMEL 値

CAS 番号	物質	暴露経路	影響	値
64-17-5	エタノール; エチルアルコール			
作業者 DNEL、長期		吸入	全身	950 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		経皮	全身	343 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		吸入	全身	114 mg/m ³
消費者 DNEL、長期		経皮	全身	206 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		経口	全身	87 mg/kg bw/day
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール			
作業者 DNEL、長期		吸入	全身	268 mg/m ³
作業者 DNEL、急性		吸入	全身	1723 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		経皮	全身	136 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		吸入	全身	80 mg/m ³
消費者 DNEL、急性		吸入	全身	1036 mg/m ³
消費者 DNEL、長期		経皮	全身	81 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		経口	全身	61 mg/kg bw/day
54060-92-3	ベーシックイエロー-28 誘導体			
作業者 DNEL、長期		吸入	全身	1,12 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		経皮	全身	0,32 mg/kg bw/day
78-93-3	ブタノン; エチルメチルケトン			
作業者 DNEL、長期		吸入	全身	600 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		経皮	全身	1161 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		吸入	全身	106 mg/m ³
消費者 DNEL、長期		経皮	全身	412 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		経口	全身	31 mg/kg bw/day
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル			
作業者 DNEL、長期		吸入	全身	67,5 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		吸入	局所	67,5 mg/m ³
作業者 DNEL、急性		吸入	局所	101,2 mg/m ³
作業者 DNEL、長期		経皮	全身	83 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		吸入	全身	40,5 mg/m ³
消費者 DNEL、長期		吸入	局所	40,5 mg/m ³
消費者 DNEL、急性		吸入	局所	60,7 mg/m ³
消費者 DNEL、長期		経皮	全身	50 mg/kg bw/day
消費者 DNEL、長期		経口	全身	5 mg/kg bw/day

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

8 / 19 ページ

PNEC 値

CAS 番号	物質	値
64-17-5	エタノール; エチルアルコール	
淡水		0,96 mg/l
淡水 (断続的放出)		2,75 mg/l
海水		0,79 mg/l
淡水堆積物		3,6 mg/kg
海洋堆積物		2,9 mg/kg
二次毒性		380 mg/kg
下水処理場 (STP) における微生物		580 mg/l
土壌		0,63 mg/kg
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール	
淡水		6,83 mg/l
淡水 (断続的放出)		10 mg/l
海水		0,683 mg/l
淡水堆積物		27,5 mg/kg
海洋堆積物		2,75 mg/kg
下水処理場 (STP) における微生物		96 mg/l
土壌		1,49 mg/kg
54060-92-3	ベーシックイエロー28 誘導体	
淡水		0,00021 mg/l
淡水 (断続的放出)		0,0021 mg/l
海水		0,000021 mg/l
淡水堆積物		0,000815 mg/kg
海洋堆積物		0,000081 mg/kg
下水処理場 (STP) における微生物		0,59 mg/l
土壌		0,00004 mg/kg
78-93-3	ブタノン; エチルメチルケトン	
淡水		55,8 mg/l
淡水 (断続的放出)		55,8 mg/l
海水		55,8 mg/l
淡水堆積物		284,74 mg/kg
海洋堆積物		284,7 mg/kg
二次毒性		1000 mg/kg
下水処理場 (STP) における微生物		709 mg/l
土壌		22,5 mg/kg
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル	
淡水		1,1 mg/l
淡水 (断続的放出)		11 mg/l
海水		0,11 mg/l
淡水堆積物		4,4 mg/kg
海洋堆積物		0,44 mg/kg

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

9 / 19 ページ

二次毒性	56 mg/kg
下水処理場（STP）における微生物	200 mg/l
土壌	0,32 mg/kg

8.2. 暴露管理



適切な工学的管理

覆いをせずに取り扱う場合、局所排気装置を設けなければならない。ガス/ヒューム/蒸気/スプレーを吸入しないこと。適切な換気を施すこと。

覆いをせずに取り扱う場合、可能であれば局所排気装置を設けるべきである。

技術的排気または換気対策が不可能または不十分な場合は、呼吸用保護具を着用しなければならない。

保護および衛生対策

汚染され、染み込んだ衣類は直ちに脱ぐこと。皮膚保護プログラムを作成し、遵守する。休憩前と作業後に手と顔を洗い、必要に応じてシャワーを浴びる。取扱い中は、飲食や喫煙をせず、鼻をすすらないこと。

眼/顔の保護

適切な眼の保護具：ゴーグル。眼/顔の保護具を着用する。

手の保護

化学物質を取り扱う際は、4桁の品質管理番号のある CE ラベルが付いた保護手袋を着用しなければならない。耐薬品性の保護手袋の品質は、特定の作業場の濃度と有害物質の量で選択しなければならない。目的に応じて、上記の保護手袋の耐薬品性を、これらの手袋の供給者と一緒に確認することが推奨される。適切な手袋を着用すること。擦り切れた場合は交換すること。耐薬品性の保護手袋の品質は、特定の作業場の濃度と有害物質の量で選択しなければならない。

目的に応じて、上記の保護手袋の耐薬品性を、これらの手袋の供給者と一緒に確認することが推奨される。製造者が提供する情報を参照すること。

適切な素材：

Nitrilkautschuk/Nitrilatex - NBR (0,35 mm)

Butylkautschuk - ブチル(0,5 mm)

Fluorkautschuk - FKM (0,4 mm)

破過時間（最大着用時間）：>8 h

本製品を取り扱う前に、保護スキンクリームを使用する。

皮膚の保護

難燃性防護服。静電気防止靴および衣類を着用する（天然繊維（綿など）/耐熱合成繊維）

呼吸の保護

換気が不十分な場合は呼吸用保護具を着用する。呼吸用保護具が必要な場合：暴露限界値を超えた場合。

適切な呼吸装置を使用する。

環境暴露管理

地表水または下水に流入させないこと。

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

10 / 19 ページ

セクション 9：物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状態：	液体		
色：	赤色		
			試験方法
pH 値：		未確定	
物理的状態の変化			
融点：		未確定	
初留点および沸点範囲：		78 °C	
引火点：		12 °C	DIN 53213
可燃性			
固体：		該当なし	
ガス：		該当なし	
爆発下限界：		2,1 vol. %	
爆発上限界：		15 vol. %	
発火温度：		340 °C	
自己発火温度			
固体：		該当なし	
ガス：		該当なし	
分解温度：		未確定	
酸化性			
酸化しない。			
蒸気圧： (20 °C)		58 hPa	
密度(20 °C)：		未確定	DIN 53217
水への溶解度：		容易に溶解する	
その他の溶媒への溶解度			
未確定			
分配係数：		未確定	
動的粘度：		3,0 mPa·s	
蒸気密度：		未確定	
蒸発速度：		未確定	

9.2. その他の情報

固形分：	未確定
------	-----

セクション 10：安定性および反応性

10.1. 反応性

高引火性。

10.2. 化学的安定性

本製品は標準周囲温度での保管下で安定である。

10.3. 危険有害反応可能性

次のものと発熱反応を生じる：酸化剤、強酸、強アルカリ

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

11 / 19 ページ

10.4. 避けるべき条件

熱源（高温の表面など）、火花および裸火から遠ざける。蒸気は空気と爆発性混合物を形成する可能性がある。加温した場合：次のものを形成する：危険有害な分解生成物

10.5. 混触禁止物質

得られる情報なし。

10.6. 危険有害な分解生成物

窒素酸化物（NOx）、カーボンブラック、二酸化炭素（CO₂）、一酸化炭素

セクション 11：有害性情報

11.1. 毒性影響情報

ATEmix 算出

ATE（吸入エアロゾル）3,000 mg/l

急性毒性

CAS 番号	化学名	経路	投与量	生物種	出典	方法
64-17-5	エタノール; エチルアルコール	経口	LD50 10470 mg/kg	ラット	Study report (1976)	OECD ガイドライン 401
		吸入(4 h)蒸気	LC50 124,7 mg/l	ラット	Study report (1980)	OECD ガイドライン 403
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール	経口	LD50 約 8000 mg/kg	ラット	Study report (1975)	OECD ガイドライン 401
		経皮	LD50 4032 mg/kg	ウサギ	Arch. ind. hyg. occupat. med. 10, 61-68.	OECD ガイドライン 402
	テトラキス{9-[2-(エトキシカルボニル)フェニル]-3,6-ビス(エチルアミノ)-2,7-ジメチルキサンチリウム} C12-(分岐および/または直鎖)-アルキル-(4-スルホナトフェノキシ)ベンゼンスルホナートおよびオキシビス [C12-(分岐および/または直鎖)-アルキル-ベンゼンスルホナート]	経口	LD50 2000 mg/kg	ラット		
	ベーシックオレンジ 21 誘導体	経口	LD50 2000 mg/kg	ラット		
		経皮	ATE 1100 mg/kg			
		吸入蒸気	ATE 11mg/l			
		吸入エアロゾル	ATE 1,5mg/l			
54060-92-3	ベーシックイエロー-28 誘導体	経口	LD50 841 mg/kg	ラット	Study report (1982)	OECD ガイドライン 401
		経皮	LD50 約 2000 mg/kg	ラット	Study report (1981)	OECD ガイドライン 402
		吸入蒸気	ATE 0,5mg/l			
		吸入エアロゾル	ATE 0,05mg/l			
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル	経口	LD50 2410 mg/kg	マウス	Study report (1981)	OECD ガイドライン 401

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

12 / 19 ページ

	経皮	LD50	2764 mg/kg	ウサギ	Study report (1981)	OECD ガイドライン 402
--	----	------	------------	-----	---------------------	--------------------

試験に関する追加情報

混合物は、規則(EC)No 1272/2008 [CLP]に従い、危険有害であると分類されている。

実際の経験

分類に関連する観察

吸入後：

人間の健康への悪影響と症状：呼吸器に刺激を引き起こすことがある。吸入すると肝臓に傷害を起こすことがある。吸入すると腎臓に傷害を起こすことがある。中枢神経系の機能低下。

症状：頭痛、めまい、眠気、意識喪失

眼に入った後：

眼の刺激（可逆的）

飲み込んだ後：

症状：吐き気、嘔吐、胃腸の不調

皮膚に付着した後：

本製品は皮膚吸収性がある。長時間または繰り返し皮膚に接触すると、皮膚から天然脂肪が除去され、皮膚炎（皮膚の炎症）を引き起こすことがある。

詳細情報

混合物自体に関して得られるデータはない。

分類は、製剤指令（1999/45/EC）の算定方法に従って行った。

他のセクションの参照：2、3

セクション 12：環境影響情報

12.1. 毒性

長期的影響により水生生物に有害。

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024 ピカインクおよびビッグインク「レッド」 13 / 19 ページ
 製品コード 150/40 および 170/40

CAS 番号	化学名		投与量	[h] [d]	生物種	出典	方法
64-17-5	エタノール; エチルアルコール						
	急性魚類毒性	LC50	15400 mg/l	96 h	Lepomis macrochirus (ブルーギル)	Bulletin of Environmental Contamination	その他 : EPA-660/3-75-009, 1975
	急性藻類毒性	ErC50	約 22000 mg/l	96 h	Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカズキモ)	Ecotoxicology and Environmental Safety 7	OECD ガイドライン 201
	急性甲殻類毒性	EC50	> 10000 mg/l	48 h	Daphnia magna (オオミジンコ)	Water Research 23(4):495-499 (1989)	その他 : DIN 38412 Teil 11
	魚類毒性	NOEC	> 79mg/l	100 d	Oryzias latipes (ミナミメダカ)	Environmental Toxicology and Chemistry	生殖に対する物質の慢性影響
	藻類毒性	NOEC	5400mg/l	5 d	Skeletonema costatum (スケレトネマコスタータム)	Environ Toxicol Chem 8(5):451-455. (1989)	化学物質の感受性を決定するための研究
	甲殻類毒性	NOEC	2 mg/l	10 d	Ceriodaphnia dubia (ニセネコゼミジンコ)	Arch Environ Contam Toxicol 20(2):211-21	閾値毒性の基本的な方法論に従っている
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール						
	急性魚類毒性	LC50	4555 mg/l	96 h	Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)	Vol. 1, pp 3, 5-16, 65-68.Center for La	OECD ガイドライン 203
	急性甲殻類毒性	EC50	3644 mg/l	48 h	Daphnia magna (オオミジンコ)	Water Res 23: 495-499 (1989)	その他 : DIN 38412 Part 11, Daphnia-Short
	甲殻類毒性	NOEC	> 100mg/l	21 d	Daphnia magna (オオミジンコ)	Study report (1997)	OECD ガイドライン 211
54060-92-3	ベシクイエロー-28 誘導体						
	急性魚類毒性	LC50	10 - 100 mg/l	96 h	Leuciscus idus melanotus (コイ科)	Study report (1979)	OECD ガイドライン 203
	急性藻類毒性	ErC50	0,14 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (緑藻類)	Study report (1992)	OECD ガイドライン 201
	急性細菌毒性	(59 mg/l)		0,5 h	主に生活系下水由来の活性汚泥	Study report (1993)	OECD ガイドライン 209
78-93-3	ブタノン; エチルメチルケトン						
	急性魚類毒性	LC50	2993 mg/l	96 h	Pimephales promelas (ファットヘッドミノー)	Study report (1998)	OECD ガイドライン 203
	急性藻類毒性	ErC50	2029 mg/l	96 h	Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカズキモ)	Study report (1998)	OECD ガイドライン 201
	急性甲殻類毒性	EC50	308 mg/l	48 h	Daphnia magna (オオミジンコ)	Study report (1998)	OECD ガイドライン 202
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル						
	急性魚類毒性	LC50	1300 mg/l	96 h	Lepomis macrochirus (ブルーギル)	J Haz Mat, 1, p303-18 (1977)	OECD ガイドライン 203
	急性藻類毒性	ErC50	> 100 mg/l	96 h	Desmodesmus subspicatus (緑藻類)	Study report (1992)	OECD ガイドライン 201
	急性甲殻類毒性	EC50	> 100 mg/l	48 h	Daphnia magna (オオミジンコ)	Study report (1992)	EU Method C.2

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

14/19 ページ

12.2. 持続性および分解性

本製品は試験されていない。

12.3. 生体蓄積性

本製品は試験されていない。

n-オクタノール/水分配係数

CAS 番号	化学名	Log Pow
64-17-5	エタノール; エチルアルコール	-0,77
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール	1,6
54060-92-3	ベーシックイエロー28 誘導体	-1,1
78-93-3	ブタノン; エチルメチルケトン	0,3
112-34-5	2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1

BCF

CAS 番号	化学名	BCF	生物種	出典
64-17-5	エタノール; エチルアルコール	1	Cyprinus carpio (コイ)	Comparative Biochemi
71-23-8	プロパン-1-オール; n-プロパノール	0,88		Unpublished calculat

12.4. 土壌中での移動性

本製品は試験されていない。

12.5. PBT および vPvB 評価の結果

本製品は試験されていない。

12.6. その他の悪影響

得られる情報なし。

詳細情報

地表水または下水に流入させないこと。土壌/下層土に流入させないこと。混合物自体に関して得られるデータはない。

地表水または下水に流入させないこと。

セクション 13：廃棄上の注意**13.1. 廃棄物処理方法****廃棄上の勧告**

地表水または下水に流入させないこと。土壌/下層土に流入させないこと。適用される法律に従って廃棄物を廃棄すること。地表水または下水に流入させないこと。法律に従って廃棄すること。

廃棄物コードリスト-残渣/未使用製品

080111 コーティング（塗料、ワニス、ガラス状エナメル）、接着剤、シーラント、印刷インキの製造、成形、供給、使用（MFSU）からの廃棄物；MFSU および塗料とワニスの除去からの廃棄物；有機溶剤またはその他の有害物質を含む廃塗料およびワニス；有害廃棄物

廃棄物コードリスト-汚染された包装

080312 コーティング（塗料、ワニス、ガラス状エナメル）、接着剤、シーラント、印刷インキの製造、成形、供給、使用（MFSU）からの廃棄物；印刷インキの MFSU からの廃棄物；有害物質を含む廃インキ；有害廃棄物

汚染された包装

汚染されていない包装はリサイクルできる。汚染された包装は、物質自体と同様に取り扱うこと。完全に中身が空の包装はリサイクルできる。

法律に従って廃棄すること。

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

15 / 19 ページ

セクション 14：輸送上の注意

陸上輸送 (ADR/RID)

14.1. 国連番号： UN 1263
14.2. 国連正式輸送品目名： PAINT
14.3. 輸送危険物クラス： 3

14.4. 包装等級： II
危険標識ラベル： 3



分類コード： F1
特別規定： 163 367 640D 650
少量危険物許容量： 5 L
微量危険物許容量： E2
輸送カテゴリー： 2
ハザード番号： 33
トンネル制限コード： D/E

内陸水路輸送 (ADN)

14.1. 国連番号： UN 1263
14.2. 国連正式輸送品目名： Paint
14.3. 輸送危険物クラス： 3
14.4. 包装等級： II
危険標識ラベル： 3



分類コード： F1
特別規定： 163 367 640D 650

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

16 / 19 ページ

少量危険物許容量 : PAINT
3
5 L
微量危険物許容量 : II

E2

海上輸送 (IMDG)

14.1. 国連番号 :

UN 1263

14.2. 国連正式輸送品目名 :

PAINT

14.3. 輸送危険物クラス : 3

14.4. 包装等級 : II

危険標識ラベル : 3



特別規定 :

163、367

少量危険物許容量 :

5 L

微量危険物許容量 :

E2

EmS :

F-E、S-E

航空輸送 (ICAO-TI/IATA-DGR)

14.1. 国連番号 :

UN 1263

14.2. 国連正式輸送品目名 :

14.3. 輸送危険物クラス :

14.4. 包装等級 :

危険標識ラベル : 3



特別規定 :

少量危険物許容量 (旅客) : A3 A72 A192

旅客 LQ : 1L

微量危険物許容量 : Y341

旅客 : E2

IATA-包装基準-旅客 : 353

IATA-最大量-旅客 : 5L

IATA-包装基準-貨物 : 364

IATA-最大量-貨物 : 60 L

14.6. 使用者に対する特別な注意事項

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

17 / 19 ページ

警告：可燃性液体。

14.7. MARPOL 附属書 II および IBC コードに従ったバルク輸送

該当なし

セクション 15：適用法令

15.1. 物質または混合物の安全衛生および環境に関する規制／法律

EU 適用法令

使用上の制限 (REACH、附属書 XVII)

エントリー55：2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール; ジエチレングリコールモノブチルエーテル

2010/75/EU (VOC)： 77,04 %

2004/42/EC (VOC)： 77,08 %

2012/18/EU (SEVESO III) に関する情報： P5c 引火性液体

国内適用法令

雇用制限： 「青少年労働保護ガイドライン」(94/33/EC) に基づく青少年の雇用制限を遵守すること。

水質危険クラス (D)： 3 - 極めて水質に有害

皮膚吸収／感作性： アレルギー性過敏反応を引き起こす。

追加情報

さらに国内規制を遵守すること！

15.2. 化学物質安全性評価

この混合物に含まれる物質の化学的安全性評価は実施されていない。

セクション 16：その他の情報

変更点

本データシートは、次のセクションにおいて、旧版からの変更を含んでいる：

1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16.

略語と頭字語

CLP：分類、表示、包装

REACH：化学物質の登録、評価、認可

GHS：化学品の分類および表示に関する世界調和システム

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日：13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

18 / 19 ページ

UN：国際連合
CAS：ケミカルアブストラクトサービス
DNEL：導出無毒性量
DMEL：導出最小毒性量
PNEC：予測無影響濃度
ATE：急性毒性推定値
LC50：半数致死濃度
LD50：半数致死量
LL50：半数致死負荷率
EL50：半数影響負荷率
EC50：半数影響濃度
ErC50：半数影響濃度、生長速度
NOEC：無影響濃度
BCF：生物濃縮係数
PBT：難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB：極難分解性、高生物蓄積性
ADR：Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(道路での危険物の国際輸送に関する欧州協定)
RID：鉄道による危険物の国際輸送に関する規則
ADN：危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定 (Accord européen relatif au transport international des marchandises dangereuses par voies de navigation intérieures)
IMDG：国際海上危険物規程
EmS：緊急時スケジュール
MFAG：応急医療指針
IATA：国際航空運送協会
ICAO：国際民間航空機関
MARPOL：船舶からの海洋汚染防止条約
IBC：中型バルクコンテナ
VOC：揮発性有機化合物
SVHC：高懸念物質

略語と頭字語については、<http://abbrev.esdscom.eu> の表を参照。

規則(EC)No.1272/2008[CLP]に基づく混合物の分類と使用評価方法

分類	分類手順
Flam.Liq.2; H225	試験データに基づく
Acute Tox.4; H332	計算方法
Eye Dam.1; H318	計算方法
Skin Sens.1A; H317	計算方法
STOT SE 3; H336	計算方法
Aquatic Chronic 3; H412	計算方法

関連する H および EUH ステートメント (番号と全文)

H225	引火性の高い液体および蒸気。
H301	飲み込むと有毒。
H302	飲み込むと有害。
H312	皮膚に接触すると有害。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318	重篤な眼の損傷。
H319	重度の眼刺激。
H330	吸入すると生命に危険。
H332	吸入すると有害。
H335	呼吸器に刺激を引き起こすことがある。

安全データシート

規則(EC)No 1907/2006準拠

改訂日 : 13.03.2024

ピカインクおよびビッグインク「レッド」
製品コード 150/40 および 170/40

19 / 19 ページ

H336	眠気やめまいのおそれ。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H411	長期的影響により水生生物に毒性。
H412	長期的影響により水生生物に有害。
EUH066	反復暴露により皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こすおそれ。

詳細情報

この情報は、当社の現在の知識レベルに基づいています。しかしながら、製品の特性を保証するものではなく、契約上の法的権利を確立するものではありません。当社製品の受領者は、現行法規を遵守する責任を負うものとします。上記の情報は、製品の安全要件のみを説明するものであり、当社の現在の知識に基づいています。この情報は、この安全データシートに記載されている製品の保管、処理、輸送、廃棄についての安全な取り扱いに関する助言を提供することを目的としています。この情報を他の製品に転移することはできません。本製品を他の製品と混合する場合、または処理をする場合、この安全データシートの情報は、新しい構成材料に対して必ずしも有効であるとは限りません。

(有害成分のデータは、それぞれ下請け業者の最新の安全データシートから取得した。)